



環境への配慮と
お客様の快適さを
追求した日本初の
LNG燃料フェリー



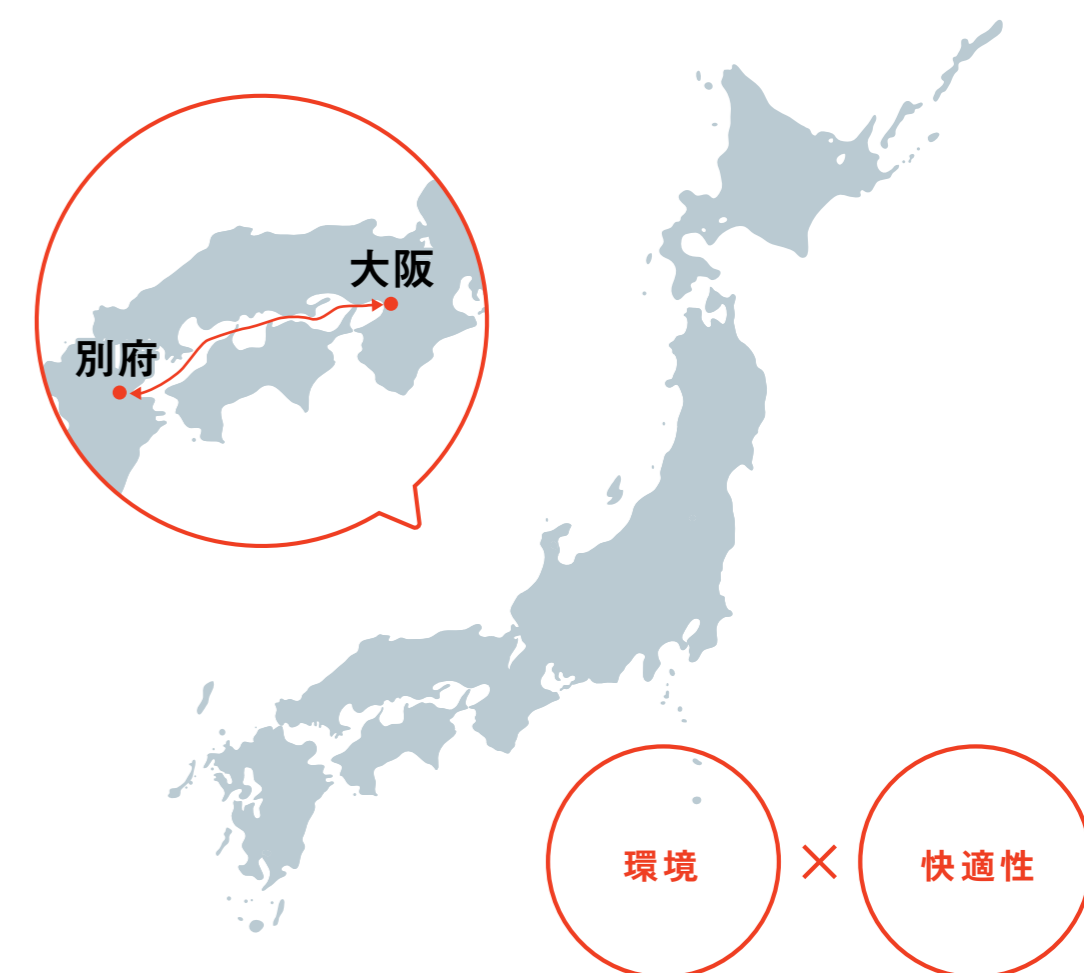
さんふらわあ くれない / さんふらわあ むらさき

Sunflower Kurenai / Sunflower Murasaki

船種：フェリー、全長：199.9m、全幅：28m、総トン数：17,114トン、積貨重量：6,918MT、材質：鋼材、燃料：LNG/重油、旅客定員：最大716名、部屋数：279室、乗用車：100台、トラック積載台数：137台(13m換算)、最大速度：22.5ノット、建造：三菱造船株式会社、船主：株式会社商船三井、運航：株式会社フェリーさんふらわあ

選ぶだけで環境に
配慮した快適な
カジュアルクルーズが
かなう。

世界的にもカーボンニュートラルへの対応やGHG削減に向けた動きは、サプライチェーン全体が向き合わなくてはならない課題です。大阪～別府間を結ぶ「さんふらわあ くれない/さんふらわあ むらさき」は、国内フェリーで初めて環境負荷の低いLNG(液化天然ガス)燃料を採用。商船三井グループとして、環境問題に貢献するだけでなく、お客様もこのフェリーを選択することで、おのずと地球にやさしい行動に繋がっていく。環境に配慮する社会をつくるためのソーシャルデザインの一旦を担っていると考えています。100年を超える伝統と、時代のニーズに応える革新性。それを体現する船として進化を続けています。



環境 × 快適性

POINT 1 環境への配慮 ENVIRONMENT



二酸化炭素(温室効果ガス)

CO₂ 排出量

約25% 削減

※従来燃料(C重油)との比較

窒素化合物
NOx 約85% 削減

※従来燃料(C重油)との比較

硫黄酸化合物
SOx ほぼ0

粒子状物質
PM ほぼ0

01 温室効果ガス、大気汚染の原因を大幅削減

LNGを燃料とすることで、地球温暖化の原因となるCO₂の排出量を約25%削減。さらに、大気汚染の原因にもなるNOx(窒素化合物)は、約85%減、SOx(硫黄酸化合物)とPM(粒子状物質)は、排出量ほぼゼロを実現。また、国土交通省の内航船省エネルギー格付けは最高評価の星5つを取得しました。

02 物流業界の「2024年問題」と地球温暖化、2つの社会問題に貢献

トラック積載台数を従来船に比べ、約1.5倍に増量。また、全室個室のドライバーズルームをはじめとするトラックドライバー区画を整備。物流業界の労働環境改善や環境対応に対して、より加速するモーダルシフトに寄与しています。



POINT 2 お客様の快適性 COMFORTABLE

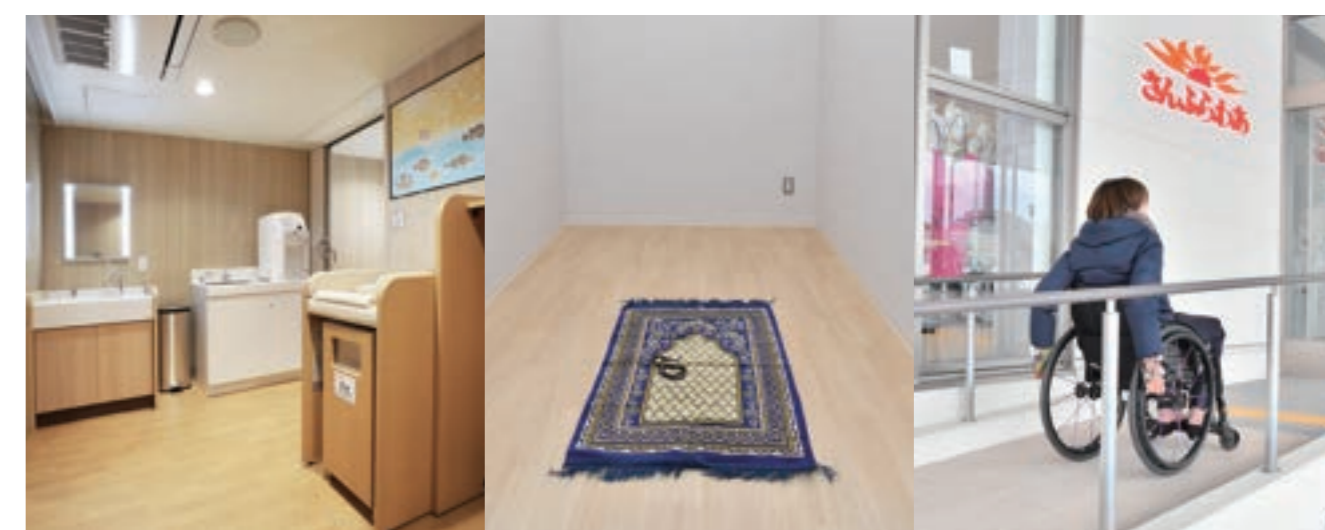


01 KIZUNAをテーマにした長距離フェリー初のコネクティングルーム

3世代がひとつの部屋で過ごすことができる広々とした客室空間。家族や友人のつながり=「きずな(KIZUNA)」を再認識する場をお客様に提供しています。

02 多様なニーズに対応したユニバーサルデザイン

船内には、多機能トイレやベビーケアルーム、ターミナルには、祈祷室やカムダウン・クールダウンルームなどを設置。多種多様な文化に対応した施設も特徴です。



03 移動そのものを楽しむ「カジュアルクルーズ」という船旅

レストランや展望大浴場、プロジェクションマッピングによる演出など船内には、「楽しむ」ための仕掛けが多数用意されています。エンタメ性ある演出で、新たな船旅の CATEGORY を創出しています。

